

2019年6月26日

アメリカ合衆国大使館気付

ドナルド・トランプ大統領 閣下

アメリカ合衆国における臨界前核実験実施に強く抗議します

貴国が、2019年2月にネバダ州でおこなった臨界前核実験「エディザ」に対し抗議します。

国連では、核兵器禁止条約が122か国の賛成で採択され、核兵器の廃絶を求める世界の世論が高まっている中、核兵器のない平和な世界を求める人々の願いに背き、核実験をおこなったことに強い憤りを感じます。

「核兵器なき世界」を求める世界的気運の中で、核兵器の維持・向上をめざす実験は厳しい批判を免れないものであり、断じて許すことはできません。また、貴国の行為は、他国にも核兵器の実験や開発の口実を与えるものになります。

私たちは戦争被爆国である日本に住む者として、平和とよりよい生活を掲げる生活協同組合として、核兵器がもたらす実相や、非人道性について学び、再び同じ過ちが繰り返されないよう、被ばく者や全国の生活協同組合と一緒に核兵器の廃絶をめざして活動を続けています。

今回、貴国がおこなった核実験に強く抗議するとともに、今後、一切の核実験と核開発を中止し、核廃絶に向けた核軍縮へ真摯に取り組むことを強く求めます。

三重県生活協同組合連合会 理事会